

除菌機 生産能力5倍に

カルテック 光触媒、対コロナ検証

家電スタートアップの

カルテック(大阪市)は、光触媒技術を使った除菌機の生産能力を9月までに現在の5倍の月間5万台に増やす。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて飲食店や病院から注文が増えているため。外部の研究機関と協力し、8月中旬に新型コロナウイルスへの

効果を検証する。

壁に掛けて使う除菌・

脱臭機を堺市の協力メーカーの工場で増産する。電子回路など部品の生産を中国から青森県に移し、生産能力を5万台に増やす。価格は税別で約6万円。中国でも新型コロナウイルスの除菌効果を検証するほか、欧米や東南アジアへの輸出も視野に入れる。

除菌機は光触媒技術を使う。触媒の酸化チタンを塗ったフィルターに風

を送りつつ、発光ダイオード(LED)で光を当てると、空気中の花粉や

ウイルスを水と二酸化炭素(CO₂)に分解する。フィルターは水で洗えば繰り返し使える。A型インフルエンザウイルスを除去する効果は実証済みだ。

カルテックは酸化チタンを触媒の機能を落とさずにフィルターに塗る技術に強い。空気の流れも工夫し、光触媒の反応効率を高めた。